



グリーン交悠録

久々の炎天下でのゴルフ観戦で 蘇った素晴らしき交悠録

本誌主幹

大中吉一

戸塚カントリー倶楽部

『戸塚カントリー倶楽部』で
炎天下、久しぶりのゴルフ観戦

7月3日、国内女子ゴルフツアー「資生堂レディース」の最終日が神奈川県横浜市の『戸塚カントリー倶楽部』で行なわれ、青木瀬令奈選手が、通算14アンダーという大会新記録で逃げ切ってツアー通算3勝目を挙げました。

『戸塚カントリー倶楽部』は井上誠一氏の設計による名門コースで、2019年前には洪野日向子選手が優勝し、その後全英オープンを制覇し、世界に飛躍することになった大きなきっかけを作った大会でもあります。

3年ぶりに有観客開催となった今回の大会は、1日の入場者上限を6000人としたうえでコロナ対策を整えて実施されることになりましたが、久々の有観客ということでも、資生堂からのご招待を頂き、最終日を観戦してまいりました。

まさに炎天下の戦いとなった最終日ですが、何よりもギャラリーがいることでの盛り上がりの素晴らしさと臨場感は久しぶりの感覚で、トー



【資生堂 レディスオープン】戸塚カントリー倶楽部

ナメントの観戦はこうでなくてはと興奮させていただきました。

資生堂が運営するこの素晴らしいゴルフ大会が今後も継続して開催され、名勝負、名場面を演出するとともに、優れた選手を輩出してくれることを切に願う久しぶりの観戦でした。資生堂がさらにゴルフツアーを盛り上げていただければと思います。

西日本新聞多田氏との出会いと
素晴らしき交流の広がり

戸塚カントリーといえば、思い出



戸塚カントリー倶楽部



戸塚カントリー倶楽部

すのは西日本新聞社の多田昭重氏です。

彼は45年ほど前に東京支社に勤務し、その後、バリ支局長を経て東京支社長、そして西日本新聞社社長になられ、最終的には副会長を務められた、素晴らしい経歴の人物です。

2007年には西日本新聞創刊130年を迎え、当時社長だった多田さんからのご招待で、ホテルオークラで開催されたパーティに参加させていただきました。

その際に、多田さんは西日本新聞130年記念の事業として、3つの事業を発表されました。

1つ目が、同年7月から九州・荒尾市のグリーンランドリゾートで「みらい九州こども博」を開催する。

2つ目が、12月にマリンメッセ福岡など3会場においてアジアカーエXPOを開催する。

3つ目が、9月から心の問題として九州国立博物館で本願寺展を開く。

というもので、見事に130周年の事業を成功させ、西日本新聞の歴史に名を残されました。

多田さんとはもう50年来のお付き合いで、もちろん私の「ゴルフ交悠録」の仲間のお1人です。

その多田さんとの「ゴルフ交悠録」の仲間が、日本放送協会（NHK）の会長だった海老沢勝二氏であり、年に数回ゴルフをご一緒する仲間でした。海老沢さんとご一緒するときには千葉県袖ヶ浦市の「カメラアヒルズカントリークラブ」が会場となり、海老沢さん、多田さんに加えて、テレビ朝日の広瀬道貞氏、テレビ大阪の富澤秀樹氏のご一緒されることがほとんどで、まさにメディア関係の重鎮との「ゴルフ交悠録」でした。

日本メディア重鎮たちとの忘れがたき「交悠録」

広瀬さんのご先祖は、江戸時代の儒学者である広瀬淡窓の弟、広瀬久兵衛で、父上は郵政大臣も務めた自民党の政治家である広瀬正雄氏、兄は富士紡績社長だった広瀬貞雄氏、弟は大分県知事だった広瀬勝貞氏、興銀証券常務だった広瀬興貞氏というそうそうたる顔ぶれで、広瀬道貞氏ご本人も朝日新聞の専務から朝日放送の社長へとという素晴らしい経歴の持ち主です。

彼とのお付き合いも長いのですが、広瀬氏は民放連の会長も務められました。その際に、NHKとの交流も大切ということもあって、海老沢さんと広瀬さん、そしてテレビ大阪の富澤さんという組み合わせで、「カメラアヒルズカントリークラブ」で年に数回の「ゴルフ交悠録」を重ねてまいりました。

こうした日本のメディアを代表する重鎮たちとのゴルフを通じての交流も、忘れ難い「ゴルフ交悠録」のひとつなのです。

久しぶりにトーナメントを観戦し、炎天下での熱戦を観たせい、懐かしい思い出が蘇った「資生堂レディース」でした。